

都市再生整備計画 事後評価シート
新居浜駅周辺地区

平成24年3月

愛媛県新居浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛媛県	市町村名	新居浜市	地区名	新居浜駅周辺地区		面積	415ha						
交付期間	平成20年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	2,049百万円	国費率	0.413					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(都)中央環状線 坂井跨道橋、市道専売公社南通り線)、公園(街区公園(新居浜駅前))、地域生活基盤施設(緑地、ポケットパーク(新居浜駅前)、国領川緑地、耐震性貯水槽(新居浜駅前))、高質空間形成施設(駅前広場シェルター)、高次都市施設(地域交流センター(金子校区))、土地区画整理事業(都市再生)(新居浜駅前)											
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		提案事業	地域創造支援事業(金子公民館解体事業)		基幹事業への位置付け変更のため。		影響なし。							
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(駅前駐車場)		市民や利用者から公共駐車場の整備が求められたため、新規事業として追加した。		目標1(出合いの場)を示す指標として、ピーク時間車両待機台数を追加した。							
			地域生活基盤施設(駅前駐輪場)		市民や利用者から公共駐輪場の整備が求められたため、新規事業として追加した。		指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。							
地域生活基盤施設(国領川緑地(情報板))			公園利用者の利便性の向上を図るため、国領川緑地の施設情報を伝える情報板を追加した。		指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。									
高質空間形成施設(休憩所(新居浜駅前))			市民とともに検討した駅前広場等整備計画の提言に基づき、事業内容を見直した。		指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。									
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
	変更	-		-		-								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	指標1	交流人口	人/年	1,720,000	H16	2,500,000	H23	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	総合所見	予定時期	
	指標2	住民満足度	%	12	H19	60	H23	-	41	△	あり	●	新居浜駅周辺整備等により、駅利用者等は着実に増加しているが、基盤整備の効果の波及に時間が掛かる、地区外のデータを含むこともあり、目標は未達成であった。	平成24年6月
	指標3	中心市街地人口	人	24,275	H19	25,200	H23	-	24,447	△	あり	●	満足度は事業前から大きく上昇したものの、回答者に地区外の住民を多く含んでいたこともあり、目標達成には至らなかった。	-
	指標4	ピーク時間車両待機台数	台	28	H22	0	H23	-	0	○	あり	●	土地区画整理事業により良好な住宅地が確保され、公園整備等により良好な住環境が確保されたが、集計対象に当該地区以外を多く含んでいたこともあり、目標達成には至らなかった。	平成24年4月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	その他の数値指標1	地域交流センター利用者数	人/年	58,942	H19			モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	総合所見	予定時期	
	その他の数値指標2	地区内住民の満足度	%	-	-			-	61			地域交流センターは、日常利用に留まらず、イベント等に活用されており、地域の交流を活性化することが可能となった。	平成24年4月	
	その他の数値指標3	駅前区画整理区域内人口	人	452	H19			-	677			公園や休憩所の整備等により、地区内住民の駅周辺に対する満足度は高い。	-	
4) 定性的な効果発現状況	<p>・JR新居浜駅イベント来訪者のアンケートにおいて、「駅が美しくなって良かった」、「駅前が立派になった」等の、地区の景観の向上に関する意見が多く寄せられた。</p> <p>・評価委員会において、「駅前広場に車が止めやすくなった。」「地域交流センター(旧金子公民館)はこれまでアクセス性が悪かったが、周辺道路整備等により利用しやすくなった。」「地区内の住環境が格段に良くなった。」「駅周辺整備は市民の長年の夢であり、子や孫の世代にとっての良い遺産になったのではない。」「国領川緑地は県のソフトボール大会等で、週末はほとんど埋まっている。」等の意見が挙げられた。</p>													
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	実施なし。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	地元住民を含む「新居浜駅前広場等整備検討委員会」を組織し、新居浜駅周辺のまちづくりについて検討を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	提言書の内容を参考に、施設の適切な維持・管理を行うと共に、今後も公民協働の取り組みを進める。		
	持続的なまちづくり体制の構築	地域住民(新居浜駅前地区まちづくり協議会等)を中心に、整備された施設等を活用した取り組みを進める。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	今後も地域と行政が一体となって、まちの課題解決等に取り組んでいく。		

様式2-2 地区の概要

新居浜駅周辺地区(愛媛県新居浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:市の玄関口として様々な人の出会いを演出しつつ、 地域資源を生かした潤いと活力に満ちた、便利で安心できるまちづくりを目指す。 目標1:市民や来訪者が集い賑わう出会いの場の実現を図るまちづくり 目標2:潤いと活力に満ちたまちづくり 目標3:便利で安心できるまちづくり	交流人口	単位:人/年	1,720,000 H16	2,500,000 H23	2,254,785 H23
	住民満足度	単位:%	12 H19	60 H23	41 H23
	中心市街地人口	単位:人	24,275 H19	25,200 H23	24,447 H23
	ピーク時間車両待機台数	単位:台	28 H22	0 H23	0 H23
	地域交流センター利用者数	単位:人/年	58,942 H19	— H	65,437 H23
	地区内住民の満足度	単位:%	— H	— H	61 H23
	駅前区画整理区域内人口	単位:人	452 H19	— H	677 H23

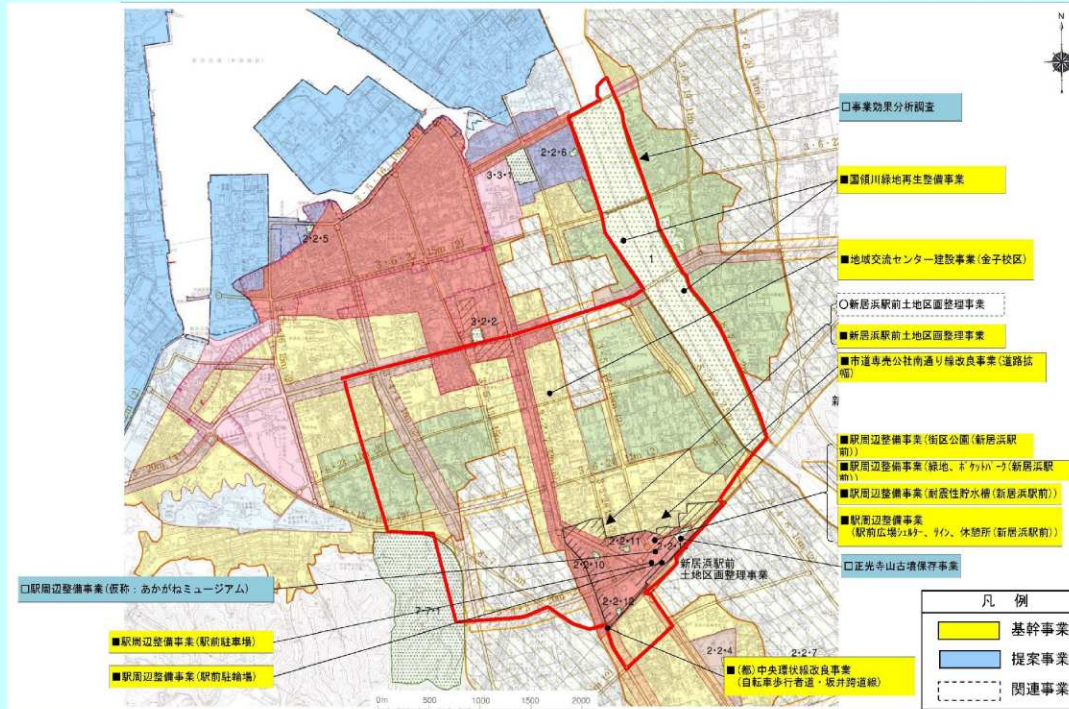
■新居浜駅前土地区画整理事業



■駅周辺整備事業



■(都)中央環状線改良事業



■地域交流センター整備事業(金子校区)



□正光寺山古墳保存事業



■国領川緑地再生整備事業(トイレ設置等)



まちの課題の変化

- ・「新居浜駅前広場等整備検討委員会」での協議など、住民との協働により、課題であった新居浜駅前土地区画整理事業を着実に進めることができた。
- ・生活環境の向上等のため、街区公園、緑地及びポケットパークや国領川緑地を整備し、アンケートで地区住民を中心に高い評価を得ている。
- ・地域交流センター(金子校区)を整備し、地域住民の交流やコミュニティ活動拠点、防災拠点としての機能を高めることができた。また、市道専売公社南通り線、(都)中央環状線の整備により、道路の安全性を高めることができた。
- ・都市計画道路、駅前広場、駅前駐車場、駅前駐輪場(用地)の整備を行い、新居浜駅の交通結節点機能を高めることができた。
- ・地区内の公園・緑地の整備は進んだものの、市の玄関口である新居浜駅前の環境づくりは十分でなく、市民や来訪者がより魅力的に感じるよう、さらにまちづくりを推進していく必要がある。
- ・駅前駐輪場(本体)の整備が残っているほか、駅南北を結ぶ跨線橋が老朽化しており、安全かつ快適に移動できるための改善など、駅南北の交通利便性をさらに高める必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・地元による整備されたまちにおける景観づくり、清掃活動等の支援などにより、良好な景観の維持・向上を図る。
- ・地元との協働により、公園・緑地の良好な環境や景観の維持・向上を図ると共に、マナーアップ標識やごみ箱の設置検討を行う。
- ・地元の取り組み支援等により、地域交流センターの活用とまちづくりの促進を図る。
- ・施設管理者により交通施設(道路、駅前広場等)の適切な維持・管理を図り、高まった交通利便性を維持する。
- ・市民や来訪者が集い賑わう出会いの場の実現に向けて、新居浜駅周辺の環境づくりや地域資源を生かした施設整備(あかがねミュージアム)の計画、整備を進めると共に、住民等との協働により施設の活用を図る。
- ・安全で便利に移動しやすいまちづくりに向けて、駅南北の交通施設のさらなる改善を図る。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		—	指標4.ピーク時間車両待機台数	地域生活基盤施設(駅前駐車場)の追加に伴い、目標1(出会いの場)を示す指標として追加。
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業		当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
事業	事業箇所名	事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	(都)中央環状線 坂井跨道橋	133	自歩道橋 L=30m、 取付道路 L=50m W=5m	94	自歩道橋 L=26.2m、 取付道路 L=53.7m W=5m	平成20年度の実施設計において、 経済性・施工性から上部工・下部 工の工法を詳細に検討し、事業費 を見直した。	指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の 要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。	●	
道路	市道専売公社南通り線	150	L220m,W6m 第4種4級	46	L160m,W6m 第4種4級	事業区間の見直しに伴い、事業費 を見直した。	指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の 要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。	●	
公園	街区公園(新居浜駅前)	162	4箇所,0.8ha	176	4箇所,0.8ha	市民とともに検討した公園の整備 計画に基づき、事業費を見直した。	影響なし。	●	
河川									
下水道									
駐車場有効利 用システム									
地域生活基盤 施設	緑地、ポケットパーク(新居浜駅前)	40	N=10箇所、 A=0.41ha	70	N=10箇所、 A=0.41ha	ワークショップで検討した公園緑地 の整備計画に基づき、事業費を見 直した。	指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の 要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。	●	
	国領川緑地	220	公園施設整備工1式 A=36ha	535	公園施設整備工1式 A=36ha	公園利用者や河川管理者との協 議を進める中で、施設の整備内容 を精査し、事業費を見直した。	指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の 要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。		●
	駅前駐車場	-	-	44	路面平面駐車 A=1,400㎡、約40台	市民や駅利用者から公共駐車場の 整備が求められたため、新規事 業として追加した。	目標1(出会いの場)を示す指標として、ピーク時間車両待機台数 を追加した。		●
	駅前駐輪場	-	-	160	地上2階2層 A=1,600㎡、約710台	市民や駅利用者から公共駐輪場 の整備が求められたため、新規事 業として追加した。	指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の 要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。		●
	国領川緑地(情報板)	-	-	4	N=6基	公園利用者の利便性の向上を図る ため、国領川緑地の施設情報を伝 える情報板を追加した。	指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の 要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。		●
	耐震性貯水槽(新居浜駅前)	11	N=1基(100t級)	11	N=1基(100t級)	変更なし。	-		●
高質空間形成 施設	駅前広場シェルター	71	シェルター:474㎡	151	シェルター:624㎡ サイン:一式	市民とともに検討した駅前広場等 整備計画の提言に基づき、事業内 容を見直した。	指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の 要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。	●	
	休憩所(新居浜駅前)	-	-	15	休憩所:2基	市民とともに検討した駅前広場等 整備計画の提言に基づき、事業内 容を見直した。	指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の 要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。	●	
高次都市施設	地域交流センター(金子校区)	322	980㎡	298	<構造>鉄筋コンク リート造2階建 <建物延面積>995㎡	事業実施に伴う事業費精算によ る。	影響なし。	●	
既存建造物活 用事業									
都市再生交通 拠点整備事業									
土地区画整理 事業(都市再 生)	新居浜駅前	300	A=278,040㎡	270	A=278,040㎡	移転補償費の精査による補償費 減、及び地権者との調整による整 地土量や建造物の減少による工事 費減により、事業費を見直したこ とによる。	影響なし。		●
住宅市街地 総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	金子公民館解体事業	12	567㎡ 解体に伴う工事費 用 12百万円	—	—	基幹事業への位置付け変更のため。	影響なし。	—	—
	駅前4号公園内正光寺山古墳保存 事業	—	—	15	正光寺山古墳の保 存・活用整備 15百 万円	市民とともに検討した駅前4号公園 の整備計画に基づき追加した。	指標「交流人口」への影響が考えられるが、他の要因による影響も 考えられるため、数値目標は据え置いた。	●	
	駅周辺整備事業(仮称)あかがね ミュージアム	—	—	158	(仮称)あかがね ミュージアム建設に 伴う設計業務	賑わいの創出を図るため、集客力 のある核施設として追加。	本事業では施設の設計のみを実施するため、指標への影響は限 定的と考えられ、数値目標は据え置いた。		●
事業活用調査	事業効果分析調査	6	事業計画の検討 4 百万円 事業マネジメント実 践方法の検討 2百 万円	2	事業効果分析調査	都市再生整備計画の継続実施の ための事業計画の検討を取りやめ たため。	影響なし。		●
まちづくり 活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
新居浜駅前土地区画整理事業		新居浜駅前	29,964	26,010	平成10年度～平成22年度	平成10年度～平成24年度	平成24年度完了予定	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
				基準年度		基準年度		目標年度					あり	なし		
指標1	交流人口	人/年	愛媛県観光統計(入込観光客数)、JR新居浜駅の乗降客数等のデータより得た、平成22年度の交流人口と過去の傾向より、平成23年度の交流人口を推計し評価値(見込み値)とした。	-	-	1,720,000	H16	2,500,000	H23	モニタリング		モニタリング				
										事後評価	確定 ●	2,254,785	事後評価	△		●
指標2	住民満足度	%	平成23年6月の、市内各支所、図書館、各公民館の利用者及びJR新居浜駅でのイベント来訪者を対象としたアンケート調査(n=540)において、駅前地区等の事業終了後のイメージパスを示し、5段階で満足度を回答して頂き、「満足」「やや満足」の割合を評価値(見込み値)とした。	-	-	12	H19	60	H23	モニタリング		モニタリング				
										事後評価	確定 ●	41	事後評価	△		●
指標3	中心市街地人口	人	住民基本台帳による、平成23年6月末時点の中心市街地地区の人口と過去の傾向より、評価基準日の中心市街地人口を推計し、評価値(見込み値)とした。	-	-	24,275	H19	25,200	H23	モニタリング		モニタリング				
										事後評価	確定 ●	24,447	事後評価	△		●
指標4	ピーク時間車両待機台数	台	平成23年6月に、新居浜駅北口駅前広場における車両待機台数(駐車できない台数)を目視により計測し、評価値(確定値)とした。	-	-	28	H22	0	H23	モニタリング		モニタリング				
										事後評価	確定 ●	0	事後評価	○		-

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	地区外のデータを含むこともあり、評価値は2,254,785人/年と目標値2,500,000人/年を下回ったものの、従前値1,720,000人/年からは大幅に上昇している。	
指標2	回答者に地区外の住民を多く含んでいたこともあり、評価値は41%と目標値60%を下回ったものの、従前値12%からは大幅な改善が見られる。	
指標3	集計対象に当該地区以外の住民を多く含んでいたこともあり、評価値は24,447人と目標値25,200人を下回っているが、従前値24,275人からは改善が見られる。	
指標4	評価値は0%であり、目標値0%を達成している。	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことという。
 ※2 目標達成度の記入方法
 ○: 評価値が目標値を上回った場合
 ●: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
 △: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)	
			基準年度		基準年度		モニタリング	事後評価			
その他の数値指標1	地域交流センター利用者数	人/年	-	-	58,942	H19	モニタリング		65,437	地域住民の交流やコミュニティ活動拠点となる、地域交流センターの利用状況から、交流の状況を把握できると考えられるため。	指標1.交流人口を補完
							事後評価	確定			
その他の数値指標2	地区内住民の満足度	%	-	-	-	-	モニタリング		61	当該地区の住民を対象に満足度を把握することで、より直接的な事業による満足度を把握することができると思えるため。	指標2.住民満足度を補完
							事後評価	確定 ●			
その他の数値指標3	駅前区画整理区域内人口	人	675	H15	452	H19	モニタリング		677	当該地区内の、新居浜駅前土地区画整理区域内の人口を把握することで、事業による人口定着の効果により直接的に把握できると考えられるため。	指標3.中心市街地人口を補完
							事後評価	確定			

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・JR新居浜駅イベント来訪者のアンケートにおいて、「駅が美しくなって良かった」、「駅前が立派になった」等の、地区の景観の向上に関する意見が多く寄せられた。
 ・評価委員会において、「駅前広場に車が止めやすくなった。」「地域交流センター(旧金子公民館)はこれまでアクセス性が悪かったが、周辺道路整備等により利用しやすくなった。」「地区内の住環境が格段に良くなった。」「駅周辺整備は市民の長年の夢であり、子や孫の世代にとっての良い遺産になったのではないか。」「国領川緑地は県のソフトボール大会等で、週末はほとんど埋まっている。」等の意見が挙げられた。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
地元住民を含む「新居浜駅前広場等整備検討委員会」を組織し、新居浜駅周辺のまちづくりについて検討を行った。	予定どおり実施した	実施頻度：計4回 実施時期：平成20～21年度 ● 実施結果：新居浜駅周辺公共施設の整備の基本方針や施設配置計画、景観デザイン等の方向づけについて議論を行い、その結果を提言書として取りまとめた。	提言書の内容を参考に、施設の適切な維持・管理を行うと共に、今後も公民協働の取り組みを進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
地域住民を中心に、整備された施設等を活用した取り組みを進める。	予定どおり実施した	● まちづくりに関する協議等を通じて、住民のまちづくりに参画する気運向上を図る。	新居浜駅前地区まちづくり協議会：新居浜駅前地区の整備を住民と行政が一体となって進めていくことを目的に、平成5年3月に結成。	今後も地域と行政が一体となって、まちの課題解決等に取り組んでいく。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事業に関わる全ての課による庁内横断的な組織	総合政策課、総合文化施設準備室、区画整理課、都市計画課	平成23年9月9日	総合政策課(主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標4		その他の数値指標1		その他の数値指標2		その他の数値指標3	
指標名		ピーク時間車両待機台数		地域交流センター利用者数		地区内住民の満足度		駅前区画整理区域内人口	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路((都)中央環状線 坂井跨道橋)	○	新居浜駅前駐車場の整備等により、駅前の待機車両を減少させ、交通環境の改善を図ることができた。	—	整備された地域交流センターは、日常利用に留まらず、イベント等に活用されており、地域の交流を活発化することが可能となった。	◎	公園や休憩所の整備等により、地区内住民の駅周辺に対する満足度は高い評価が得られた。	○	新居浜駅前土地区画整理事業による宅地の形成や、周辺の住環境整備により、駅前区画整理区域内の人口は増加している。
	道路(市道専売公社南通り線)	○		—		◎			
	公園(街区公園(新居浜駅前))	—		—		◎			
	地域生活基盤施設(緑地、ポケットパーク(新居浜駅前))	—		—		◎			
	地域生活基盤施設(国領川緑地)	—		—		◎			
	地域生活基盤施設(駅前駐車場)	◎		—		◎			
	地域生活基盤施設(駅前駐輪場)	—		—		○			
	地域生活基盤施設(国領川緑地(情報板))	—		—		◎			
	地域生活基盤施設(耐震性貯水槽(新居浜駅前))	—		—		○			
	高質空間形成施設(駅前広場シェルター)	—		—		◎			
	高質空間形成施設(休憩所(新居浜駅前))	—		—		◎			
	高次都市施設(地域交流センター(金子校区))	—		◎		○			
	土地区画整理事業(都市再生)(新居浜駅前)	○		○		◎			
提案事業	地域創造支援事業(金子公民館解体事業)【中止】	—	—	—	—	—	—	—	—
	地域創造支援事業(駅前4号公園内正光寺山古墳保存事業)	—	—	—	◎	○	○	○	
	地域創造支援事業(駅周辺整備事業(仮称)あかがねミュージアム)	—	—	—	○	○	○	○	
	事業活用調査(事業効果分析調査)	—	—	—	—	—	—	—	
関連事業	新居浜駅前土地区画整理事業	○	—	○	—	◎	◎	◎	

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も整備した駐車場等の適切な維持・管理と利用促進を行う。	住民と共に地域交流センターを引き続き活用し、さらなる交流促進を図る。	今後も整備した公園や休憩所の適切な維持・管理や利用促進を図る。	新居浜駅前土地区画整理事業で整備した道路・公園等について適切な維持・管理を進めると共に、空地等の利用に向けたPRを図る。
-------	-------------------------------	------------------------------------	---------------------------------	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標2			指標3					
指標名		交流人口			住民満足度			中心市街地人口					
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路(都)中央環状線 坂井跨道橋)	△	新居浜駅周辺整備等により、駅利用者等は着実に増加しているものの、基盤整備の効果が、市全体の交流人口の増加にはまだ十分に波及しておらず、目標は未達成であった。	Ⅲ	△	満足度は事業前から大きく上昇したものの、回答者に地区外の住民を多く含んでいたこともあり、目標達成には至らなかった。	Ⅲ	△	土地区画整理事業により良好な住宅地が確保され、公園整備等により良好な住環境が確保されたが、集計対象に当該地区以外を多く含んでいたこともあり、目標達成には至らなかった。	Ⅲ			
	道路(市道専売公社南通り線)	△											
	公園(街区公園(新居浜駅前))	△											
	地域生活基盤施設(緑地、ポケットパーク(新居浜駅前))	△											
	地域生活基盤施設(国領川緑地)	△											
	地域生活基盤施設(駅前駐車場)	△											
	地域生活基盤施設(駅前駐輪場)	△											
	地域生活基盤施設(国領川緑地(情報板))	△											
	地域生活基盤施設(耐震性貯水槽(新居浜駅前))	△											
	高質空間形成施設(駅前広場シェルター)	△											
	高質空間形成施設(休憩所(新居浜駅前))	△											
高次都市施設(地域交流センター(金子校区))	△												
土地区画整理事業(都市再生)(新居浜駅前)	△												
提案事業	地域創造支援事業(金子公民館解体事業)【中止】	-			-			-					
	地域創造支援事業(駅前4号公園内正光寺山古墳保存事業)	△			△			△					
	地域創造支援事業(駅周辺整備事業(仮称)あかがねミュージアム)	△			△			△					
	事業活用調査(事業効果分析調査)	-			-			-					
関連事業	新居浜駅前土地区画整理事業	△			△			△					

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	整備が進んだ新居浜駅周辺から、市内各所の交流施設までの情報案内やアクセス性の向上を図る。	引き続き、新居浜駅周辺を中心にハード、ソフトの両面からまちづくりを進め、地区外の市民を含めた満足度向上を図る。	新居浜駅周辺を中心にハード、ソフトの両面から住みよい住環境づくりを進めると共に、整備が進んでいる区画整理区域等へのアクセス環境の改善を図る。
------------------	--	---	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事業に関わる全ての課による庁内横断的な組織	総合政策課、総合文化施設準備室、区画整理課、都市計画課	平成23年9月9日	総合政策課(主管課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
住民と行政が一体となった、土地区画整理事業の残事業の推進。	・「新居浜駅前広場等整備検討委員会」での協議など、住民との協働により、新居浜駅前土地区画整理事業を着実に進めることができた。	-	-
地区全体の、潤いの向上と活気に満ちたまちづくりの推進。	・街区公園、緑地及びポケットパークや国領川緑地を整備し、アンケートで地区住民を中心に高い評価を得ている。	・地区内の公園・緑地の整備は進んだものの、市の玄関口である新居浜駅前の環境づくりは十分でなく、市民や来訪者がより魅力的に感じるよう、さらにまちづくりを推進していく必要がある。	
地域交流の活発化や防災性の向上による、安心できるまちづくりの推進。	・地域交流センター(金子校区)を整備し、地域住民の交流やコミュニティ活動拠点、防災拠点としての機能を高めることができた。また、市道専売公社南通り線、(都)中央環状線の整備により、道路の安全性を高めることができた。	-	
交通網や交通結節点の整備改善による、便利なまちづくりの推進。	・都市計画道路、駅前広場、駅前駐車場、駅前駐輪場(用地)の整備を行い、新居浜駅の交通結節点機能を高めることができた。	・駅前駐輪場(本体)の整備が残っているほか、駅南北を結ぶ跨線橋が老朽化しており、安全かつ快適に移動できるための改善など、駅南北の交通利便性をさらに高める必要がある。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	土地区画整理事業等により形成された市街地の、環境や景観の維持・向上。	公民協働により、土地区画整理事業等により形成された市街地の、良好な環境・景観の維持・向上を図る。	・地元による景観づくり、清掃活動等の支援。
	整備された公園、国領川緑地等の、良好な環境や景観の維持・向上。	公民協働により、公園・緑地の良好な環境・景観の維持・向上を図る。	・地元による景観づくり、清掃活動等の支援。 ・公園・緑地へのマナーアップ標識の設置検討。
	地域交流センターの活用促進。	地元による取り組み支援等により、施設の活用とまちづくりの促進を図る。	・地元によるイベントの企画と運営に関する支援。
	整備された交通施設の機能維持。	施設管理者により適切な維持・管理を図り、高まった交通利便性を維持する。	・市による施設の適切な維持・管理。

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	新居浜駅周辺の環境づくりや地域資源を活用したまちづくり。	市民や来訪者が集い賑わう出会いの場の実現に向けて、新居浜駅周辺の環境づくりや地域資源を生かした施設整備を進めると共に、住民等との協働により施設の活用を図る。	・モニュメント等の設置。 ・総合文化施設(あかがねミュージアム)の住民意見を踏まえた計画、整備と活用検討。
	<ul style="list-style-type: none"> ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策 	安全で便利に移動しやすいまちづくりに向けて、駅南北の交通施設のさらなる改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・南北自由通路の整備。 ・北口駅前広場の整備。 ・南口駅前広場の整備。 ・駅前駐輪場(本体)の整備。

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・評価委員会において、「新居浜駅駅舎に、地域ならではの食事処や土産物屋があると良く、長期的に検討した方が良い。」「利用者が増えたため、国領川緑地のトイレ、ベンチを増やした方が良い。また、増水の心配があり、河床の掘削等で対応できないか。」「シンボルロードに街路樹が不足している。」等の意見が挙げられた。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み		あり	なし	予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	交流人口	人/年	1,720,000	H16	2,500,000	H23	確定	●	2,254,785	△	あり	●	平成24年6月	平成23年の愛媛県観光統計(入込観光客数)、平成23年のJR新居浜駅の乗降客数等から新居浜市の交流人口を把握し、確定値とする。	
指標2	住民満足度	%	12	H19	60	H23	確定	●	41	△	あり	●	-	-	
指標3	中心市街地人口	人	24,275	H19	25,200	H23	確定	●	24,447	△	あり	●	平成24年4月	平成24年3月末における住民基本台帳人口の、中心市街地の町丁目別データを抽出し、確定値とする。	
指標4	ピーク時間車両待機台数	台	28	H22	0	H23	確定	●	0	○	あり	●	-	-	
その他の数値指標1	地域交流センター利用者数	人/年	58942	H19			確定	●	65,437				平成24年4月	平成23年度1年間の地域交流センター利用者数を、市資料より把握し、確定値とする。	
その他の数値指標2	地区内住民の満足度	%	-				確定	●	61				-	-	
その他の数値指標3	駅前区画整理区域内人口	人	452	H19			確定	●	677				平成24年4月	平成24年4月末における住民基本台帳人口の、駅前区画整理区域内の町丁目別データを抽出し、確定値とする。	

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		指標設定の際は、データ入手の容易さ、全国的な傾向等も考慮する。
	うまくいかなかった点	指標「交流人口」は、複数の統計値に基づいており、データの入手がやや困難であった。また、全国的に人口は減少傾向にあり、目標値がやや過大であったと考えられる。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	その他の数値指標「地区内住民の満足度」、「駅前区画整理区域内人口」の設定により、当該地区内への直接的な事業効果を把握することができた。	指標設定の際は、事業や対象区域との関連性に十分留意する。
	うまくいかなかった点	指標「交流人口」、「住民満足度」は、当該地区以外の区域による影響が大きく、事業効果を十分に把握できていなかったと考えられる。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	新居浜駅前広場等整備検討委員会等により、地元意見を取り入れながら事業を進めることができた。	今後も同種の事業実施の際は、多様な方法で住民の意見を取り入れる。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	事後評価時に市民アンケートを行ったことで、地元の意向を把握することができ、今後のまちづくり方策及び2期計画の作成に役立った。	事業実施及び事後評価の際は、アンケート等により広く住民意見を把握する。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

【今後、交付金を活用予定の地区】

・新居浜駅周辺地区(2期)で交付金を活用した事業を実施予定であり、本地区の経験を都市再生整備計画の作成に活かしていく。

【事後評価を予定している地区】

(・特になし)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	ホームページへの掲載	平成23年10月3～21日	平成23年10月3～24日	担当課への郵送、 FAX、電子メール	総合政策課(主管課)
広報掲載・回覧・個別配布	市広報誌(9月下旬発行)での 事前周知	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	総合政策課窓口での閲覧	平成23年10月3～21日	平成23年10月3～24日		
住民の意見	意見なし				

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	愛媛大学 柏谷増男 名誉教授・防災情報研究センター客員教授	平成23年11月10日	総合政策課(主管課)	新居浜市都市再生整備計画評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	新居浜駅前地区まちづくり協議会会長 駅前自治会自治会長 金子校区運営審議会委員長 兼 金子校区連合自治会長 国領川河川敷利用者協議会副会長				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に基づき、評価が適切に行われたことが確認された。
	成果の評価	(指標4. ピーク時間車両待機台数) - 駅前広場に車が止めやすくなった。 (その他の数値指標1. 地域交流センター利用者数) - 地域交流センター(旧金子公民館)はこれまでアクセス性が悪かったが、周辺道路整備等により利用しやすくなった。 (その他の数値指標2. 地区内住民の満足度) - 地区内の住環境が格段に良くなった。
	実施過程の評価	・実施過程の評価が適切に行われたことが確認された。
	効果発現要因の整理	(指標1. 交流人口) - 活性化には時間が掛かるため、現在の△評価はまだ一時的なものと考えておいた方が良い。 - 交流人口が減っているならば問題だが、今回は増加しており問題無いのではないか。 (指標2. 住民満足度) - 満足度は、一般的に「普通」の割合が高くなるため、満足度41%は必ずしも悪い数値ではない。 (指標3. 中心市街地人口) - 全国的に人口が減少傾向にある中、目標値が過大だったことも想定される。 - 地権者の長期的な土地活用の考えもあり、人口定着には時間が掛かる。現時点で目標未達成でも仕方無いのではないか。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案の公表が適切に行われたことが確認された。
	その他	・「駅周辺整備は市民の長年の夢であり、子や孫の世代にとっての良い遺産になったのではないか。」「国領川緑地は県のソフトボール大会等で、週末はほとんど埋まっている。」等の意見が挙げられた。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きが妥当に進められたことが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・今後のまちづくり方策に関し、以下の意見が挙げられた。 - 駅前でのイベント定着のため、市に立ち上げ支援をしてもらいたい。 - ポケットパークでの、ごみの放置、落書き、蛇口の破損等が発生しており、注意喚起の看板やごみ箱の試験設置が必要ではないか。 - 今後整備予定の総合文化施設は、まちの顔になる施設であり、施設レイアウト等の情報を地域に周知して頂きたい。 - 新居浜駅駅舎に、地域ならではの食事処や土産物屋があると良く、長期的に検討した方が良い。 - 利用者が増えたため、国領川緑地のトイレ、ベンチを増やした方が良い。また、増水の心配があり、河床の掘削等で対応できないか。 - シンボルロードに街路樹が不足している。
	フォローアップ	・フォローアップ計画が妥当であると認められた。
	その他	(・特になし)
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策が妥当であることが確認された。
その他	(・特になし)	

都市再生整備計画(第3回変更)

にい は ま え き し ゅ う へ ん
新居浜駅周辺地区

え ひ め け ん に い は ま し
愛媛県 新居浜市

平成22年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛媛県	市町村名	新居浜市	地区名	新居浜駅周辺地区	面積	415 ha
計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度				

目標

大目標:市の玄関口として様々な人の出会いを演出しつつ、地域資源を生かした潤いと活力に満ちた、便利で安心できるまちづくりを目指す。

- 目標1:市民や来訪者が集い賑わう出会いの場の実現を図るまちづくり
- 目標2:潤いと活力に満ちたまちづくり
- 目標3:便利で安心できるまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

<地区の現況>

- ・新居浜駅は、JRの全列車が停車する人流拠点であり、県内で最もコンテナ取扱量が多い物流拠点である。
- ・都市計画用途地域は、駅周辺の商業地域その他、周辺は住居系用途地域が指定され、駅南側には特定用途制限地域が広がっている。駅の南側からは、パーク&ライド等の利用があるが、駅の南北を結ぶ跨線橋は老朽化しており、鉄道駅に近接する立地条件にもかかわらず、駅北側と比べて都市機能の集積が乏しい。
- ・南北方向の(都)高木中筋線は、鉄道と立体交差しているが、平成16年の台風で冠水し、道路交通情報の不足とあいまって都市活動に大きな被害をもたらした。
- ・新居浜駅から東西約1kmのところには、屋外レクリエーションの場である国領川緑地や滝の宮公園がある。

<歴史的経緯>

- ・当該地区は、当時の市街地から離れた位置に新居浜駅を設置したことが始まりである。その後、別子鉱山鉄道(下部鉄道)と新居浜駅との連絡鉄道が敷設され、人流・物流の拠点として機能し始めた。

<上位計画における位置づけ>

- ・当該地区は、平成2年の「新居浜市都市基本計画」で新都市拠点として位置づけたことが始まりであり、その後の中心市街地活性化基本計画や長期総合計画等においても都市拠点としての位置づけが継承されている。
- ・当該地区では、新都市拠点としてのポテンシャルを向上させるべく、平成11年に「新居浜駅周辺整備構想」を策定し、また、平成10年から土地区画整理事業に着手している。

<近年の取り組み>

- ・「新居浜駅周辺整備構想」の策定から数年が経過し、社会経済状況や市民ニーズの変化等を鑑み、平成17年度から「新居浜駅周辺地区整備計画」の策定に取り組み、整備の方向性や核施設として芸術文化施設に関する検討を行っている。

課題

①観光・交流に関する課題

- ・新都市拠点の早期実現に向けて、市民や来訪者が市の玄関口として魅力的に感じるよう、今後も住民と行政が一体となって土地区画整理事業の残事業を推進していく必要がある。

②アメニティに関する課題

- ・当該地区における生活環境の質を高めるため、地区内公園の整備や国領川緑地の環境整備により、地区全体の潤いを高め、活力に満ちたまちづくりを推進する必要がある。

③防災・交通利便性に関する課題

- ・多くの人が居住する当該地区においては、地域交流の活発化や防災性の向上により、安心できるまちづくりを推進する必要がある。
- ・新居浜駅を中心に多くの人が集まる地区として、様々な交通手段利用に配慮した交通網や交通結節点の整備改善により、便利なまちづくりを推進する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- ①新居浜らしい出会いの場としての新都市拠点の形成と都市機能の充実・強化
- ②近代化産業遺産や自然資源等との連携による魅力の向上、及び情報発信機能の充実
- ③交通結節点としての機能強化・快適性の向上

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
交流人口	人/年	市外から市を訪問した人数	目標1(出会いの場)を示す指標として、既往調査結果等を基に交流人口を推計する。	1,720,000	平成16年度	2,500,000	平成23年度
住民満足度	%	街づくりに対する住民満足度	目標2(潤い・活力)と目標3(便利・安心)の街づくりが図られたかどうかを確認する指標として、アンケート調査により住民の満足度を計る。	12	平成19年度	60	平成23年度
中心市街地人口	人	住民基本台帳を基にした中心市街地人口	目標3(便利・安心)による人口の定着を図る指標として、中心市街地人口を計る。	24,275	平成19年度	25,200	平成23年度
ピーク時間車両待機台数	台	駅前広場内のピーク時間における車両の待機台数	目標1(出会いの場)を示す指標として、駅前広場に出入りする車両を計測する。	28	平成22年度	0	平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(市民や来訪者が集い賑わう出会いの場の実現に向けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年で駅前土地区画整理事業を完成させるとともに、新居浜駅の交通結節機能の向上のため、都市計画道路、駅前広場、駐車場、駐輪場等の整備を行う。 賑わいづくりの核となる新居浜駅前大街区へ、市民や来訪者にとっての交流・情報発信拠点となる地域交流センター((仮称)あかがねミュージアム)を建設する。 新都市拠点の形成に向けて、今後のまちづくりを検討するための事業効果分析調査を行う。 	<p>方針に合致する主要な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業/新居浜駅前土地区画整理事業 事業活用調査/事業効果分析調査 地域生活基盤施設/駅周辺整備事業(駅前駐車場) 地域生活基盤施設/駅周辺整備事業(駅前駐輪場) 地域創造支援事業/駅周辺整備事業((仮称)あかがねミュージアム)
<p>整備方針2(潤いと活力に満ちたまちづくりに向けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国領川緑地について、各種スポーツ・レクリエーションやイベント開催に対応できるよう、トイレ、手洗い場、ベンチ、情報板などの公園施設の整備を行う。 土地区画整理事業区域内にある公園緑地の整備や耐震性貯水槽の設置、及び駅前地区内の景観形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園/駅周辺整備事業(街区公園(新居浜駅前)) 地域生活基盤施設/国領川緑地再生整備事業 地域生活基盤施設/駅周辺整備事業(緑地、ポケットパーク(新居浜駅前)) 地域生活基盤施設/駅周辺整備事業(耐震性貯水槽(新居浜駅前)) 地域生活基盤施設/情報板(国領川緑地) 高質空間形成施設/駅前広場シェルター・サイン・休憩所(新居浜駅前) 地域創造支援事業/駅前4号公園内正光寺山古墳保存事業
<p>整備方針3(便利で安心できるまちづくりに向けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民の交流やコミュニティ活動拠点、防災拠点の機能を果たす地域交流センター(金子校区)の建設を行う。 新居浜駅前と市内の主要施設や観光資源等との連携を図るため、(都)中央環状線(自転車歩行者道)の未整備区間(楠中央通りとの立体交差部分)の整備を行う。 地区内の生活道路の整備改善を図るため、市道専売公社南通り線の道路拡幅を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 高次都市施設/地域交流センター建設事業(金子校区) 道路/(都)中央環状線改良事業(自転車歩行者道・坂井跨道橋) 道路/市道専売公社南通り線改良事業(道路拡幅)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○整備計画の継続的な実施 新居浜市では、平成19年度以降の10か年において優先的に整備すべき事業メニューを整理している。この中で、都市再生整備計画区域に該当する事業メニューについては、まちづくり交付金制度を有効に活用するため、平成20年度からの4か年で着実に実施する事業(前期)と、それ以降の3か年で引き続き実施する事業(後期)に仕分け、まちづくりの目標を継承する形で方針に合致する事業を展開する予定である。 ○施設の防災機能化 本事業により整備される公共施設のうち、身近な公園緑地は、さまざまなコミュニティ活動の場として活用されることはもとより、安心できるまちづくりに向けて、防災機能の向上に資する重要な公共施設として整備する。 <ol style="list-style-type: none"> ①公園 新居浜駅前土地区画整理事業区域内に整備する街区公園であり、地震災害時における安全性の確保を図るよう、一時避難地となる身近な歩いていける範囲内の公園として、地域の防災拠点及び避難中継の役割を果たす場として整備する。 ②地域生活基盤施設(緑地、ポケットパーク) 新居浜駅前土地区画整理事業区域内に整備する緑地であり、地震災害時における一時避難地として、地域の防災拠点及び避難中継の役割を果たすとともに、災害時における被害の拡大を防止する緩衝地帯として整備する。 ③地域生活基盤施設(耐震性貯水槽) 災害時における安全性の確保を図るため、消防水利施設として、新居浜駅前土地区画整理事業区域内の街区公園内に設置する。 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,049.0	交付限度額	847.0	国費率	0.413
---------	---------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路		(都)中央環状線 坂井跨道橋	新居浜市	直	L79.9m,W5m	H20	H21	H20	H21	94.2	94.2	94.2	94.2	
道路		市道専売公社南通り線	新居浜市	直	L160m,W6m	H20	H21	H20	H21	45.7	45.7	45.7	45.7	
公園		街区公園(新居浜駅前)	新居浜市	直	4箇所.0.8ha	H20	H22	H20	H22	176.0	176.0	176.0	176.0	
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		-			-									
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設	緑地・地域防災施設・情報発信基地・自転車駐輪場	国領川緑地・新居浜駅前	新居浜市	直	36ha	H20	H24	H20	H23	1,164.0	824.0	824.0	824.0	
高質空間形成施設	歩行者支援施設	新居浜駅前	新居浜市	直	-	H22	H22	H22	H22	166.2	166.2	166.2	166.2	
高次都市施設	地域交流センター	金子校区	新居浜市	直	995㎡	H20	H22	H20	H22	297.9	297.9	297.9	297.9	
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業		新居浜駅前	新居浜市	直	27.8ha	H10	H22	H20	H22	7,703.6	270.0	270.0	270.0	
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										9,647.6	1,874.0	1,874.0	0.0	1,874.0

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造	駅前4号公園内正光寺山古墳保存事業	新居浜駅前	新居浜市	直		H22	H22	H22	H22	15.0	15.0	15.0	15.0	
支援事業	駅周辺整備事業	(仮称)あかがねミュージアム	新居浜市	直		H22	H25	H22	H23	3,686.0	158.0	158.0	158.0	
事業活用調査	事業効果分析調査	-	新居浜市	直	-	H23	H23	H23	H23	2.0	2.0	2.0	2.0	
まちづくり活動推進事業														
合計										3,703.0	175.0	175.0	0.0	175.0

合計(A+B) 2,049.0

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
新居浜駅前土地区画整理事業	新居浜駅前	新居浜市	国土交通省	27.8ha		○			H10	H22	26,010.0
合計											26,010.0